

上川町白寿大学

白寿だより

令和2年10月 第3号



白寿大学 8月授業

「認知症の人々の心の世界を知ろう」

旭川大学保健福祉学部
教授 吉澤 裕子氏

8月19日(水)

授業を熱心に聞く
学生の皆さん！！

参加者64名



会時に折なり
に和やかな
折なり笑い
なりました
交際講演
！演え

！(^_^)！

お知らせ

授業の出席について

新型コロナウイルスの影響で「白寿大学の授業」の回数が激減し、主催授業の代わりになる「自主授業」(文化鑑賞事業等)もほとんど実施されていません。出席回数に不安を感じている方もいると思います。進級に必要な出席回数(現行6回)について今年度は、見直しが必要と事務局も思っています。正式には12月の運営委員会を経て皆さんにお知らせします。

8月の授業は、旭川大学の保健福祉学部教授 吉澤裕子(ひろこ)氏による健康講座「認知症の人々の心の世界を知ろう」です。先生ご自身が看護師の仕事しながら、50才を過ぎて大学院で学び、博士号までとられたという異色の経歴の持ち主です。講演に先立ち去る6月にご逝去された「故井上功一さん」に全員で黙祷を捧げました。

さて、講演ですが、認知症は症状により「アルツハイマー型」「レビー小体型」「脳血管性」「前頭側頭型」の4種類の認知症があること、そしてその特徴と対応、予防と改善策についてお話いただき、認知症の第一人者「長谷川和夫先生(自身が認知症になった経験を著書にしている)」の話を引用しながら分かり易く講演していただきました。吉澤先生の90代のご両親や自身の経験も話に入れ、時折笑いも交えて講演は終了いたしました。最後に白寿大学から心ばかりのお礼「緑丘蔵の甘酒」を差し上げ、会場に集った学生の感謝といたしました。暑い中にもかかわらず講演していただいた先生に感謝です。

白寿大学 宿泊研修inウポポイ&登別&室蘭

9月2日~3日 参加者16名



広大な敷地にアイヌ関係の歴史的な施設が点在しています。音楽や舞踊のライブがあると背景に映えると思います。



で頭で水
いのは中
ま上下
すでサン
泳メネ
いがル

たはイル
！圧力
！巻き
でヨ
しい



ていま
す！大
橋の
窓を
叩い
が



今年度の宿泊研修は、白老・登別・室蘭方面です。一日目は、この7月に開業したばかりの白老ウポポイと登別マリンパークニクスの見学です。出発の朝、上川町の天候は晴れ、白老では小雨、登別では強い雨でした。ウポポイでは、修学旅行生の多さとその広さに閉口しましたが、ニクスでは工夫された展示とイルカショーを見学しました。泊まりは第一滝本館の西館で夕食を堪能し、その後全員でピンゴゲームと温泉を楽しみました。

二日目は、天候が更に悪化し、地球岬の駐車場では横殴りの風雨でどなたもバスから降りる希望がない程の荒天でした。そこで日程を早め白鳥大橋の麓、道の駅みたら室蘭に行きましたが、コロナウイルスの影響で二階の白鳥大橋記念館が閉鎖され、早々に見学終了。帰りの砂川オアシスパークで遅い昼食と少し長いショッピングタイムを楽しみました。

今回の宿泊研修は、二日間通して天候には恵まれなかったものの皆さんにケガや病気もなく予定されていた日程を行うことができました。お一人の方が身内のご不幸で不参加となりましたが、参加者全員が無事元気で上川町に帰って来れたのが何よりでした。

次回の白寿だよりは「美瑛&中富良野」の日帰り研修と10月11月の授業の様子です。今後も積極的に授業に参加されるようお願い致します。



授業に参加の際は、なるべく三密を避けマスクの着用をお願いいたします。